

【事業名】 電動車用蓄電池の容量及び劣化診断装置開発

事業者名：ゴイク電池株式会社
実施期間：令和3年7月～令和4年2月

1. 事業の背景・目的

2050年脱炭素化を目指して、様々な対策や検討が進んでおります。対策の中の一つで、「ゼロカーボン・ドライブ（再エネ×EV/PHEV/FCV）」の実装が目標と掲げられております。これにより、多方面で電動化が進んでおり、特に自動車におけるEV化が顕著な動向となっております。

このEVの基盤となる中核デバイスは、EV用蓄電池です。このEV用蓄電池を適切に性能評価をする必要が高まっております。しかし、現状では車載状態でのEV用蓄電池の容量及び劣化診断の手法は確立されておられません。

今回の実証では、EV用蓄電池を車載状態で測定を行い適正な電池評価基準を作り上げるための装置を開発し、車載用電池エコシステムの中の「中古車の適正な価格評価」、「電池の回収」、「車載用蓄電池の適正な二次利用」、「有用資源の回収、リサイクル材料の使用」において大きく貢献致します。

2. 補助事業の概要

本事業は、メーカー横断的で簡易・瞬時的な電池診断装置を開発することで図のように、一般の整備工場や解体工場、リユース工場等への電池パックの残存価値診断技術を普及させ、電動車の中古価値向上（項目②）、電池価値向上でトレーサビリティ向上（項目④）、資源の適正回収の効率向上（項目⑤）、車載電池の適正二次利用（項目⑥）を促進する。

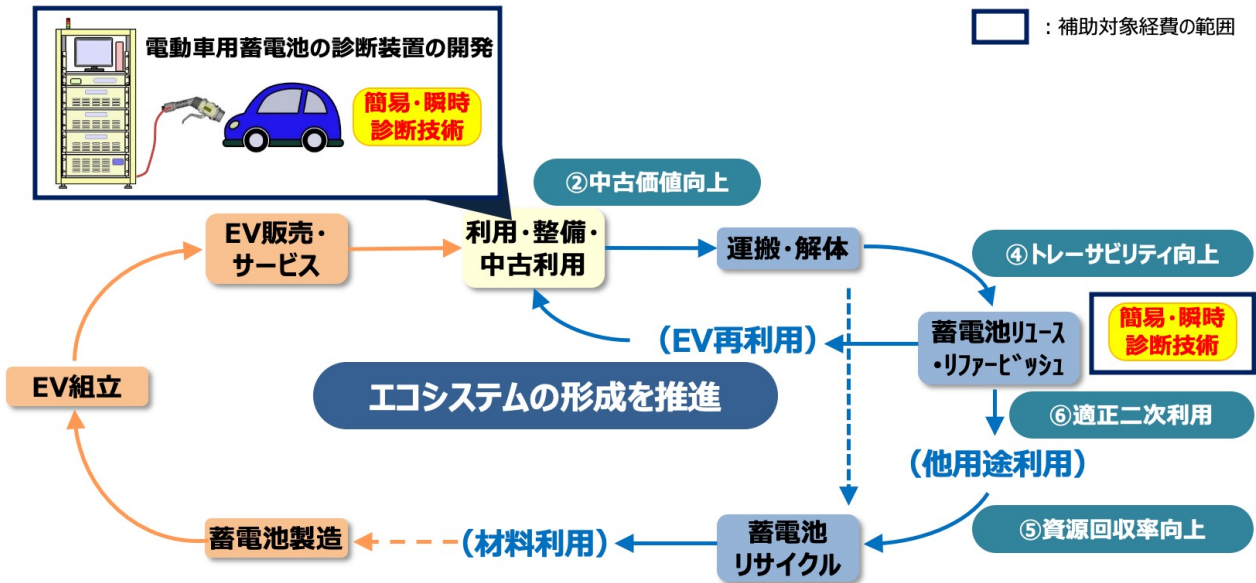


図 実証イメージ